

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	公民館活動推進事業 (政策)						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			10	04	02	05	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	共催
	[1] 生涯学習						担当課係等	霞ヶ浦公民館
事業期間	5 地区公民館活動と地域活性化運動							学習係
継続 (年度～)								

現状把握の部 (D0)

【目的】 各地区公民館において、地域の自主性、独自性を尊重しながら、学習や集会、地域と連携した活動など、特色ある各種事業を実施することを目的とする。	【関連事業】 集落センター連絡協議会運営事業、新生活運動推進協議会運営事業
【期待される効果】 ①地区民の教養の向上、健康の増進情操の純化を図る。 ②楽しい集いの場として、地区民の融和と協力を図る。 ③生活の改善及び合理化を図り、生活文化の振興を図る。	【対象者】 各地区公民館内の市民全体
【全体概要】 各地区公民館（下大津・美並・牛渡・佐賀・安飾・志士庫）の各種事業に係る費用。幼児から老人まで幅広い年齢層の住民が交流・参加できる身近な事業を提供することで、地域住民と協力しながら学習や意識の啓発を行い、親睦と融和を進め、更には地域振興を図る。	【特記事項】 平成26年度各地区公民館事業実績 ○球技大会（ソフトボール・バレーボール） 74チーム、1,111人 ○体育祭 約4,100人 ○ハイキング 368人、バス12台 ○移動講座 497人、バス13台 ○歩く会 194人 ○その他 237人
【平成25年度 事業内容】 下大津、美並、牛渡、佐賀、安飾、志士庫の各地区公民館において、体育祭や球技大会、移動講座、ハイキング、各種講座等を実施した。	【平成26年度 事業内容】 下大津、美並、牛渡、佐賀、安飾、志士庫の各地区公民館において、体育祭や球技大会、移動講座、ハイキング、各種講座等を実施した。
【平成27年度 事業内容】 下大津、美並、牛渡、佐賀、安飾、志士庫の各地区公民館において、体育祭や球技大会、移動講座、ハイキング、各種講座等を実施する。	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度						
財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	自主財源	3,761	3,798	4,843						
歳入計 (千円)		3,761	3,798	4,843						
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)						
	08 報償費	1,496	1,434	1,604						
	09 旅費	24	78	59						
	11 需用費	820	734	842						
	12 役務費	289	255	258						
	14 使用料及び賃借料	1,132	1,289	2,072						
	19 負担金、補助及び交付金	0	8	8						
歳出計 (千円) (A)		3,761	3,798	4,843						
(参考)		当初予算額	0	当初予算額	6,788	伸び率(%)	決	27.51	予	-28.6
職員人工数		1.50	0.90	0.90						
職員人件費 (B)		12,090	6,942	7,155						
総事業費 (A) + (B)		15,851	10,740	11,998						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動指標	事業実施数	事業	目標	6.00	6.00	6.00
	実施地区公民館数		実績	6.00	6.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	年間参加者総数	人	目標	7,000.00	6,000.00	6,000.00
	延べ人数		実績	5,311.00	6,507.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画及び2015年市長政策方針より
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 コミュニティ活動は市民と行政が一体となって行うべきであり、その観点からでは行政からの一定の税金投入は妥当性がある。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上まらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民・行政とも各々の意識改革により成果は向上できる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 コミュニティ活動の場が無くなれば、地域の特性・連帯感は希薄化し社会問題等にも発展しかねない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 平成28年度4月からは霞ヶ浦地区の6つの地区公民館は統廃合し霞ヶ浦中地区公民館とし、また千代田地区には千代田中地区公民館と下稲吉中地区公民館を設置する。各々の地区公民館活動の連携はできる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 平成28年度4月より中学校単位による地区公民館活動を開始することにより、最初の骨格を作り上げるまでの間は、行政側として事業費及び人件費を維持し支援していきたい。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 事業内容によっては年齢層の偏った参加者となる傾向にあるが、各コミュニティ活動とも幅広い年齢層の参加者となるよう特色ある事業展開に見直しの余地はある。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	市民と行政は共にコミュニティ活動の利点を生かす（地域の幸せづくり）ため、市民と行政が一同に会し、現時点での事業の課題や問題点を挙げ、改善策を講じる「ワークショップ型研修」等を実施していくべきである。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 26年度取り組んできた新しい公民館の形作りが着実に実施できるよう準備を進めていくこと。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 地域の実態や特性を踏まえた事業を展開することで、特色ある公民館活動の推進に努めてください。		

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

事務事業評価シート

事務事業名		霞ヶ浦公民館運営事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	社会教育法、公民館設置及び管理等に関する条例施行規則		
			10	04	02	07	政策経費				
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象			
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	行政の関与			
	[1] 生涯学習						担当課係等	霞ヶ浦公民館			
事業期間	5 地区公民館活動と地域活性化運動							学習係			
継続（年度～）											

現状把握の部（D0）

【目的】 市民がより充実した人生が送れるよう、学びたい、楽しみたいなど、市民の多種多様なニーズに応じた様々な催しもの、講座、教室などを開催し、市民の生きがいづくり、仲間づくりなどの機会を提供することを目的とする。	【関連事業】 生涯学習推進、女性団体行政、放課後子ども教室推進、千代田公民館運営、文化芸術振興事業
【期待される効果】 公民館施設等を多目的に活用し、地域住民の教養・文化意識の高揚を高める。	【対象者】 市民全体（講座受講者）
【全体概要】 霞ヶ浦公民館の各種事業に係る費用。自ら学習活動に参加し、その中で学ぶ楽しさや喜びを感じながら自己実現を図ることができ、生涯学習としてとらえた講座を計画する。	【特記事項】 ○各講座・教室関係謝礼 市内講師5,000円/回、市外講師7,000円/回 ⇒平成26年度利用実績 前期講座：5講座（88人）延べ265人、受講率98％ 後期講座：6講座（89人）延べ361人、受講率81％
【平成25年度 事業内容】 IT・絵画・庭木・健康・おせち料理・お菓子づくり等の講座を開催した。	【平成26年度 事業内容】 IT・絵画・習字・ダンス・朝ごはん料理・英会話・かけっこ等の講座を開催した。
【平成27年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座を実施する。また、修了した講座の活動内容や講座募集等について「ふれあい生涯学習フェア」の場で周知する。	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	979	549	1,400
歳入計（千円）		979	549	1,400
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	292	342	673
	11 需用費	205	194	92
	14 使用料及び賃借料	482	13	635
歳出計（千円）（A）		979	549	1,400
（参考）		当初予算額	0	当初予算額
職員人工数		0.50	0.50	0.75
職員人件費（B）		4,030	3,857	5,963
総事業費（A）＋（B）		5,009	4,406	7,363

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	講座の開設	件	目標	10.00	10.00	20.00
	講座の開設数		実績	11.00	11.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	講座の年間受講率	%	目標	80.00	80.00	75.00
	講座の募集定員に対する受講者の割合		実績	74.00	89.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画及び市社会教育基本計画より
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の多様な学習機会の提供や地域住民の交流の場、つまり市社会教育の推進のため、まずはきっかけづくりとしての行政が生涯学習として捉えた講座を実施していくことは妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 時代に即した多種多様な講座の開設
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 社会教育の希薄化、及び社会教育（公民館）施設の利用率低下
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 教育部門の他にも、福祉、保健、農林、観光等の部署においても講座的な同様の事業を実施しているため、他部署間の横の連携が可能である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 平成28年4月より中学校単位による地区公民館活動を開始することにより、各々の講座を開講予定であるため、当面は事業費及び人件費の削減余地は困難である。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 講師謝礼（負担者）は受講生（受益者）のみで負担しているため、公平・公正である。事業の内容等については多種多様な講座を開講していきたい。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	講座の修了生たちが、今後、自主的に同好会やサークル活動を行っていただけるように、講座の中身の改善を行いたい。また、修了生の自主活動の場へのサポート支援等を実施できるよう改善していきたい。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：中泉 栄一
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 仲間づくり、生きがいつくり、健康づくり等の観点から、健康寿命の延伸に貢献している「自主的に活動する文化団体」の会員数が高齢化により減少傾向にあることから、新しい同好会、サークルの設立を意識した大人向けの趣味の講座を開講すること。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：飯田 泰寛
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 学びの成果を発表する機会を数多く設けるなどして、市民の学習意欲を高めることや励みとなるよう努めてください。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度								
事務事業名	集落センター連絡協議会運営事業（政策）						事業類型	委員会・審議会等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	市補助金等交付規則、市公募型補助金等交付要綱、市集落センター連絡協議会規約
			10	04	02	12			
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	市民主体	
	[1] 生涯学習						担当課係等	霞ヶ浦公民館	
5 地区公民館活動と地域活性化運動						学習係			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部（D0）

【目的】 集落センターの円滑な運営を図るため、集落の相互連絡、情報交換を行い、各集落の生産、生活環境の改善に資し、もって新しい農村建設を目的とする。	【関連事業】 新生活運動推進協議会運営事業	
【期待される効果】 上記目的のとおり	【対象者】 集落センター連絡協議会会員	
【全体概要】 かすみがうら市集落センター連絡協議会事業に関する補助金。地域作り研修及び料理講習会等により、集落センターの円滑な運営を期する。また、地域振興促進など活力ある地域づくりに寄与する。	【特記事項】 初期の目的を達成しており、H22年度に県の親組織である県ふるさとづくり推進センターが解散していること、さらに事業が公民館活動と重複していることから、同協議会は公民館活動に吸収していく（解散）ことで、H27年度に協議・検討していくこととする。	
【平成25年度 事業内容】 環境美化運動、料理講習会、地域活性化促進事業、視察研修を行った。	【平成26年度 事業内容】 環境美化運動、料理講習会、地域活性化促進事業、視察研修を行った。	【平成27年度 事業内容】 環境美化運動、料理講習会、出張映画上映会、視察研修を行う。

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	90	91	91
歳入計（千円）		90	91	91
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	0	1	1
	19 負担金、補助及び交付金	90	90	90
歳出計（千円）（A）		90	91	91
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.30	0.30	0.45
職員人件費（B）		2,418	2,314	3,578
総事業費（A）＋（B）		2,508	2,405	3,669

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	地域活性化促進事業数（料理講習会） 事業の実施数	事業	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	料理講習会参加数 参加者数	人	目標	24.00	24.00	24.00
			実績	31.00	27.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 まちづくりを基軸とする点で公民館活動と事業が重複している。	■見直す余地がある
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 県の組織（ふるさとづくり推進センター）がH22年度に解散したことから、同協議会は27年度に解散することで協議・検討していく。	■見直す余地がある
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。 成果が上がらない理由はあるか。	■余地がない 【理由】 公民館活動に吸収していく。	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input type="checkbox"/> 影響がある 【理由】 H27年度同協議会総会において、ソフト事業面については承認済みであり影響はないと思えるが、ハード面において市内部での担当調整が必要である。	■影響がない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない 【理由】 公民館事業と類似している事業であることから、公民館活動に吸収していく。	■統廃合・連携ができる
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 （仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 【理由】 公民館活動に吸収していく。	■事業費の削減余地がある ■人件費の削減余地がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 集落センター加盟集落のみが対象の事業である。	■見直す余地がある

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	当協議会でこれまで実施してきたソフト事業面については、公民館で実施している事業と内容面で重複する面が多いことから、公民館活動に吸収していく方向とする。また、集落センター建物等のハード面については、過去の経過より田園都市建設事業、農村集落センター整備事業により各集落センターの建設が実施されてきたことより、当時建設した際の主管課自体が変わってしまっているため、市内部での調整を図る必要がある。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 27年度いっぱい、集落センター連絡協議会事業を公民館事業へスムーズに溶け込ませられるよう進めていくこと。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業を公民館活動へ組み替える考えには多くの理解が得られると思います。組織としての連絡協議会の今後について、検討をお願いします。		